

## 社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年11月28日

計画の名称	札幌市における安全・安心なみどりづくり（防災・安全）（重点）											
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）											
交付対象	札幌市											
計画の目標	<p>「札幌市公園施設長寿命化計画」に基づき経年等による老朽化が著しい遊戯施設等の更新を行うことにより、日常時、非常時双方において誰もが安全・安心に利用できる公園を整備する。</p> <p>また、高齢者や障がい者等を含む誰もが快適に公園を利用できるようにするために、老朽化施設の更新等の機会をとらえて、バリアフリー化やユニバーサルデザイン化を進める。</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,696	A	3,696	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R7当初)		(R11末)
1	公園のバリアフリー化率を向上させる。 移動円滑化基準を満たす園路、広場、駐車場及び便所が整備された都市公園の割合 園路及び広場のバリアフリー化率（移動円滑化基準適合公園数 / (施設設置公園数 - 例外規定適用公園数)）	80%	%	81%
2	公園のバリアフリー化率を向上させる。 移動円滑化基準を満たす園路、広場、駐車場及び便所が整備された都市公園の割合 駐車場のバリアフリー化率（移動円滑化基準適合公園数 / (施設設置公園数 - 例外規定適用公園数)）	67%	%	71%
3	公園のバリアフリー化率を向上させる。 移動円滑化基準を満たす園路、広場、駐車場及び便所が整備された都市公園の割合 便所のバリアフリー化率（移動円滑化基準適合公園数 / (施設設置公園数 - 例外規定適用公園数)）	42%	%	50%
4	身近な公園に対する市民の満足度を60%以上とする。 市民アンケート調査で、身近な公園に対して「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答した市民の割合	58%	%	60%
5	老朽化施設の改修を実施した大規模公園の年間利用者数を現状以上に維持する。 計画期間中に老朽化施設の改修を実施した大規模公園の年間利用者数（モエレ沼公園）	828400人	人	828400人

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靭化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

・札幌市強靭化計画に基づき実施される要素事業・年間利用者数の算定にあたっては、指定管理者による入園者計測のデータを利用

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											R07	R08	R09	R10	R11		
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	北海道	札幌市	直接	札幌市	-	-	札幌市都市公園安全・安心対策事業(重点)	長寿命化対策(モエレ沼公園等における遊戯施設等の改築)	札幌市						3,656	藻南公園 : 2.53	策定済
	A12-002	公園	北海道	札幌市	直接	札幌市	-	-	札幌市都市公園安全・安心対策事業(重点)(中期計画老朽)	健全度D判定等の緊要な対応が必要な公園施設の改修	札幌市						40		策定済
																	小計	3,696	
																	合計	3,696	

## 交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					